（様式⑦-1 支援学校）

ハな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書

堺市立　百舌鳥　支援学校
校長　石田智子

令和8年度 重点目標
「笑顔にあえる学校～子ども・保護者・教職員」
人として「生きる力」を育てる。

学校の現状
本校は、知的障害児のための小中一貫の支援学校で、、「人として”生きる力”を育てる」を学校教育目標として掲げ、①元気なからだ（元気に生活する体力・運動する力）、②生活する力（基本的生活習慣、家庭生活・地域生活・社会生活に必要な基本的な力）、③まじわる力（人とかかわり、集団に参加する力やコミュニケーション力を高める力）、④あじわう力（文化を学び、豊かに生活を送る基礎的な力）、⑤はたらく力（労働の基礎となる力、職業観の基盤となる力）の5つの力をつけることを具体目標に掲げ、障害の多様化のなか、児童生徒一人ひとりの実態に応じて、個別のニーズに応じた学習活動に取り組んでいる。
　また、本校の児童生徒が、社会の一員として、豊かな生活を育むことができるようにするため、本校の児童生徒に関わる子どもの障害児理解を推進するため、近隣校や居住地校等との交流及び共同学習に、積極的に取り組んでいる。
また、学校HPはじめ、あらゆる機会を用いて、本校の教育活動について発信をしている。また宮園分校・上神谷支援学校との児童生徒との交流も今年度の目標のうちの一つである。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組（●重点とする取組）	判断基準（評価のものさし）	評価方法	評価時期	進捗確認（～○月）		達成状況(年度末) 自己評価		達成状況(年度末) 学校関係者評価	
確かな学び	教育的ニーズに応じた取組	子どもにとって楽しく安全な学校づくり 一人ひとりの教育的ニーズを把握し、適切な指導や支援に努める。	教材教具の工夫による授業力の向上	子どもが楽しんで学校に行き授業に参加している	学校アンケート等	3学期						
			障害の理解を深めるとともにICTを活用した教材を工夫するなど適切な指導と支援に取り組む	障害理解や指導方法などを工夫しながら取り組んでいる	校内研修振り返り等	3学期						
	性の	教職員の授業力向上 専門的な指導の向上やより良い授業づくりに努める。	●支援学校教員としての専門性の向上をめざした組織的な校内研修の充実	教員自身が研修に積極的に取り組んでいる。	学校アンケート等	3学期						
			職員間の「報告・連絡・相談」を基礎にしたチームとして児童生徒への支援	教員が子どもの実態を理解市適切な支援を行っている	学校アンケート等	3学期						
			教職員の働き方改革 （ワーク・ライフ・バランス）の推進	時間外滞在時間を減らし職員が心身ともに健康な状態でいる。	時間外滞在時間等資料等	3学期						
豊かな心・健やかな体	社会	社会参加や自立のための力をつけるための支援をおこなう。 共生社会の実現に向けて、交流及び共同学習等を充実させる。	支援学校のセンター的機能を発揮し学校園への地域支援の推進 3校間の連携★	「支援学校センター的機能活用(外部専門家派遣)」地域校の支援に活用してい	専門家派遣回数	3学期						
			共生社会の実現に向けた交流および共同学習の充実	参加者や相手校が交流等を肯定的に捉えるとともに、次年度も継続して取り	行事の振り返り	3学期						
			「個別の教育支援計画・指導計画」を活用した保護者や関係機関との連携	「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」が学校と保護者の共通理解に役	学校アンケート等	3学期						
	機関との連係	信頼される学校づくり 関係機関と連携して、保護者支援・保護者連携の充実を図る。	コンプライアンスの遵守と服務規律の徹底	関係機関との連携ができている。	教職員へのアンケート・反省	3学期						
			学校HP等学校情報の積極的な発信学校安全の充実	百舌鳥通信（学校便り）や学校HPを活用して学校教育情報を積極的に発信し	アクセス数	3学期						
校力向上	機関との連係	保護者も元気が出る 安全・安心な学校づくり	教育相談体制の確立	保護者と学校の意思疎通が図られ、保護者の相談を学校が受け止めた	学校アンケート等	3学期						
			適切なキャリア教育	児童生徒が自立し、社会の中で自分らしく充実した人生や職業生活を送るた	生徒への振り返り・ポートフォリオ等	3学期						

校長より(年度末)

学校関係者評価者から(年度末)